

# 「グリーンコンシューマー」って何？

時期 いつでも

時間 1時間

場所 教室

- 「グリーンコンシューマー」とは何かを知り、環境に配慮したライフスタイルと社会のあり方を考える。

## ねらい

- ・ グリーンコンシューマー（緑の消費者）の視点を通して、環境に配慮した生活を実践していく態度を育成する。

## 教科に見る活用場面

- ・ 中学校 社会（地理的分野）（公民的分野） 「地球環境問題」「公害問題」「消費者問題」
- ・ 高等学校 公民（現代社会） 「地球環境問題」「公害問題」「消費者問題」

## 活動の内容

- (1) 生徒用資料を読んでグリーンコンシューマーとは何かを理解する。
- (2) 最近一週間の中で購入したモノ・サービスの支出をワークシート①にまとめる（事前に課題として提示しておく）。
- (3) ワークシート①の内容を、ワークシート②に分類し、グリーンコンシューマーとしての具体的な行動を考える。
- (4) ワークシート②をもとに、普段の生活の中で最も簡単に実践できることと、最も環境によさそうなものを、班別に議論し発表をする。



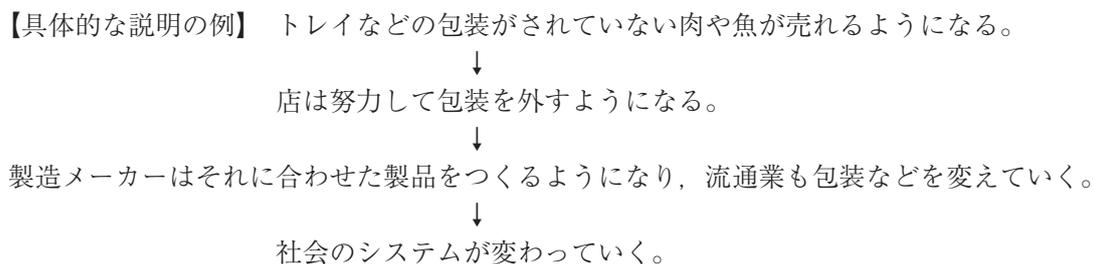
## 活用ガイド

### ○指導上の工夫・留意点

・ワークシート②では例をあげて説明し、具体的に理解させる。

- 1) ★ばら売り・量り売りのものを選ぶ。→無駄を減らす。  
★トイレットペーパーはシングル巻であるものを選び無駄に使わない。
- 2) ★包装・容器はごみにならずリサイクルされるもの、燃やしても安全なものを選ぶ。  
★容器は何回も使える詰め替えのできる商品を選ぶ。
- 3) ★使い捨て電池より充電式電池を選ぶ。  
★紙コップや紙皿、ティッシュペーパーなどを無駄に使わない。  
★消耗部分を交換・補充できるものを選ぶ（筆記用具）  
★買い物バッグを持ち歩く。
- 4) ★使用時の消費電力が少ないものを選ぶ。  
★洗濯機は使用水量が少なく、風呂の残り湯が利用できるものを選ぶ。  
★「低公害車」「エコカー」などの自動車を選ぶ。  
★出かけるときは公共交通機関を利用する。
- 5) ★旬のものを選ぶ。→栄養価もよく、ハウス栽培のものより低エネルギーで栽培されている。  
★紙製品は白色度が低いものを選ぶ。再生紙や古紙配合率の高い紙製品を選ぶ。
- 6) ★ハム・みそなどの食品は、できるだけ添加物の少ないものを選ぶ。  
★低農薬、有機栽培のものを選ぶ。
- 7) 8) ★再生材料を多く使用しているものを選ぶ。  
★ファイルは表紙ととじ具を分離し、再利用・分別廃棄できるものを選ぶ。  
★ペットボトルから再生した繊維で作った衣料品などを選ぶ。  
★家電はリサイクル設計がなされているものを選ぶ。
- 9) ★地場産の野菜を選ぶ（地産地消）。→新鮮・輸送エネルギーが少ない。
- 10) ★修理などアフターサービスが充実しているものを選ぶ。  
★環境に配慮したレストラン・ホテルを利用する。

・一人一人が毎日の買い物の中で意識して、できることから少しずつでも実行していくことが大切であり、その積み重ねがライフスタイルを変える大きな効果を生み、さらに社会のシステムそのものを変えていくという大きな役割となることに気付かせる。



・関連プログラムとして、「食品の選び方を考えよう」(p.197), 「エコライフを考えよう」(p.201), 「どちらが環境にやさしいか」(p.215), 「ごみと3R」(p.222), 「身の回りのリサイクル」(p.233)がある。

### ○協力が得られる機関

・栃木県消費生活センター 宇都宮市埴田1-1-20 県庁本館7階南側  
くらし安全安心課消費者行政推進室 TEL (028) 625-2227



消費生活・衣食住

①グリーンコンシューマーを目指そう！

実施日	年 月 日( )	年 組 番	氏名	
-----	----------	-------	----	--

○ 一週間の中で購入したモノ・サービスの支出（主なものでよい）を書き出してみよう。

（例）トイレットペーパー … 300 円，ファーストフード店で食事 … 600 円

月	日	曜日	項目	支出（円）
			A	
			B	
			C	
			D	
			E	
			F	
			G	
			H	
			I	
			J	
			K	
			L	
			M	
			N	



## ②グリーンコンシューマーを目指そう！

実施日	年 月 日( )	年 組 番	氏 名	
-----	----------	-------	-----	--

作業1 ワークシート①のA～Nの項目を、次の1)～10)に分類し、さらに環境に配慮した行動があれば上段のカッコに、また、改善できる行動があれば下段のカッコに記号を記入しよう（複数の観点に同じ記号を記入してもよい）。

1) 必要なものだけ買う。

環境に配慮した行動 ( )

改善できる行動 ( )

2) ごみになるものは買わない、容器は再使用できるものを選ぶ。

環境に配慮した行動 ( )

改善できる行動 ( )

3) 使い捨て商品は避け、長く使えるものを選ぶ。

環境に配慮した行動 ( )

改善できる行動 ( )

4) 使う段階で環境負担が少ないものを選ぶ。

環境に配慮した行動 ( )

改善できる行動 ( )

5) つくるときに環境を汚さず、つくる人の健康をそこなわないものを選ぶ。

環境に配慮した行動 ( )

改善できる行動 ( )

6) 自分や家族の健康や安全をそこなわないものを選ぶ。

環境に配慮した行動 ( )

改善できる行動 ( )

7) 使ったあと、リサイクルできるものを選ぶ。

環境に配慮した行動 ( )

改善できる行動 ( )

8) 再生品を選ぶ。

環境に配慮した行動 ( )

改善できる行動 ( )

9) 生産・流通・使用・廃棄の各段階で資源やエネルギーを浪費しないものを選ぶ。

環境に配慮した行動 ( )

改善できる行動 ( )

10) 環境対策に積極的な店やメーカーを選ぶ。

環境に配慮した行動 ( )

改善できる行動 ( )



消費生活・衣食住

作業2 作業1を行って、気付いた点やこれから心がけたい点をあげてみよう。

## 「グリーンコンシューマー」とは・・・

便利さや快適さだけでなく環境のことを考えて、より環境に対する負荷の少ない買い物をする人々のことを「グリーンコンシューマー（緑の消費者）」と言う。これまでライフスタイルへの提案という、リサイクル活動などの生活の「出口」での工夫やエアコンの温度設定、アイドリングストップなどの「使い方」の工夫が大半だった。こうした行動も必要だが、生活の「入り口」である買い物という日常的な行動を通して、環境問題への意識を行動に移し、自分たちの生活、そして企業活動や経済社会を環境に配慮した方向へ変えていこうとするものが、グリーンコンシューマー運動と呼ばれ、1988年にイギリスで始まり、全世界に広まりつつある。

何を買うかということは「どう使うか」「何を捨てるか」に直接関係する。つまり消費者が環境にやさしい商品を選んで買うことで、小売店は環境にやさしい商品の品揃えをし、企業は製品の開発段階から環境への配慮をし始め、市場全体が環境にやさしいものになるということである。

